

国民大運動行動報告

第030号
2019年
6月13日

「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」

国民大運動実行委員会

〒113-8462 文京区湯島2-4-4 全労連会館内

Tel 03-5842-5611 Fax 03-5842-5620

～第198通常国会 国民大運動・安保破棄中実委・中央社保協主催6・12定例会国会行動～

増税も改憲も許さない！選挙で変える！



会期末を26日に控えたなかで三者共催定例会国会行動は、6月12日、憲法共同センターによる3,000万人署名提出行動と共同して行なわれ、国公労連の中本邦彦中央執行委員の司会のもと、320人が参加しました。

133個もの署名箱が積み上げられた衆議院第2議員会館の前には、日本共産党国会議員団から、赤嶺政賢、清水忠史、畑野君枝、宮本徹、本村伸子の各衆院議員、井上哲士、吉良よし子、倉林明子、武田良介、山下芳生、山添拓の各参院議員、あわせて11名が参加し、代表して井上哲士参院議員が国会情勢報告と激励挨拶を行ないました。参加者を代表して全日本民医連の下石礼子さんが、92万7,007人の3,000万人署名を含む、112万5,828人分の署名を井上議員に託しました。

政府与党が、すでに会期延長はないとの方針を固めているなかで、今回の行動がおそらく最後の定例会国会行動となります。景気悪化のなかでの消費税増税、日米貿易交渉での密約、新たな年金問題など未解決の問題が山積し、野党5党・会派は予算委員会での首相出席の集中審議を求めています。政府与党はこれを拒否し続け、まともに向き合おうとしません。

参加者は、国民を愚弄する政治を続ける安倍政権を一日も早く倒すために、市民と野党共闘をすすめ、参院選で勝利しようと、決意を固めました。

戦争をあり、人権など顧みない議員や政党は、二度と国会に送らない！



主催挨拶を行う国民大運動代表世話人の笠井貴美代新日本婦人の会会長(左端) 暮らしや平和の切実な国民の願いにこたえ、堂々と論戦し、参院選で国民の審判を受けるべきだ」と強く批判。32の選挙区での候補者一本化と「共通政策」で豊かな合意がつけられているとし「改憲も増税も許さない！選挙でかえる！」と訴え、そのために力を尽くそうとよびかけた。

主催者を代表して挨拶を行った国民大運動の笠井貴美代代表世話人(新日本婦人の会会長)は、各団体から持ち寄られ積み上げられた署名は「安倍政権への国民の積もりにつもった怒りの山」だとした上で、改憲や消費税増税、辺野古新基地建設中止やこの間の年金問題、イージスアショアの誤データなど、「安倍首相は暮

政府与党は、国会から逃げるな！議論から逃げるな！予算委員会開け！

参加議員を代表して国会情勢報告を行った日本共産党の井上哲士参議院議員は、参加した議員を一人ひとり紹介してから、この間野党が求めている集中審議に応じない政府与党を「国民の代表として行政を監視する責任を放棄している」と厳しく指摘し「国会から逃げるな！議論から逃げるな！予算委員会開け！」と批判した。国民の暮らしや願いとかけ離れた安倍政権の消費税増税、年金問題、イージスアショアなどでの対応をさらに指摘し、「憲法改正ではなく、憲法をどのように守りいかしていくかが国民の声だ」とし、「新しい希望を抱ける政治をつくるために全力をあげる」と決意を述べた。



全日本民医連の下石礼子さんが、参加者を代表して寄せられた署名を井上議員に託しました。

全国から寄せられた、「9条を守りたい！」「戦争しない国を守りたい！」という思いの込められた私たちの声を国会に必ず届けて下さい！

この3,000万人署名が世論を動かし、野党の背中を押しています！



憲法共同センターの長尾ゆりさん(全労連副議長)は、92万7,007人から寄せられた署名を国会に提出したことを報告し、戦争する国づくりに向けて数々の悪法を強行してきた安倍政権が、参院選の選挙公約に憲法改正をかかげ、改憲策動を強めているとし「一日も早く安倍政治を終わらせねばならない」と訴えた。寄せられた視覚障害者の皆さんからの点字署名や、ハガキの一言蘭のメッセージなどを紹介しながら「野党の共同と私たちの運動が安倍政権にブレーキをかけ、3,000万人署名が世論を動かし、与党の背中を押し

ている」と訴え、「参院選の勝利で、安倍政治に終止符を打とう！」とよびかけた。

消費税 10%増税、なんとしてもやめさせるために全力で頑張る！



神奈川県大運動・新日本婦人の会横浜南支部の湯川美和子事務局長は、この間の年金問題で金融庁の発表したモデルケースと同じ状況であるとし、42年間務めあげた夫の年金は、今の年金制度になりどんどん目減りし、介護保険を払い続けていても特養でさえ高くて入所できないとし「消費税10%アップは生活破壊以外の何物でもない」と強く訴えた。午前中の神奈川の集会のなかで出された「令和の新しい時代、ではなく、安倍政権をやめさせることが新しい時代だ」との決意表明を紹介し、「10%増税をなんとしてもやめさせ、安倍政権を倒すために全力で頑張る」と決意を述べた。

金融庁の報告は真実。だから、全国で年金裁判をたたかっている！

全日本年金者組合の増子啓三中央執行委員は、安倍内閣の7年間で物価は5.3%上がったのに年金は0.8%下がり、実質6.1%もの削減だと指摘。さらに「麻生大臣が前代未聞の受け取り拒否をした金融庁の報告は、真実であり『100年安心の年金』としてきたこととの矛盾を解決することができなくなっている」と主張。「年金では生活できない。だから全国で陳述し年金裁判をたたかっている」と述べ、今、年金問題が注目されており、今こそ私たちの出番であるとして、「この問題を徹底的に追及し、2007年の消えた年金問題の時のように安倍政権を追い詰めよう」と決意を述べた。



9条改憲を許さず、国民の生きる権利、憲法守れ！の声を拡げたたかおう！

中央社保協の山口一秀事務局長は、午前中の10月消費税10%ストップ！ネットワークによる院内集会で45万人分を超える署名が提出されたことも報告。問題となっている金融庁の報告書は、「安倍政権が『全世代型社会保障』としてすすめてきた負担増・給付減の実態そのものであり、国民生活など全く考えていないことが明らかになった」と指摘。「憲法25条の国民の生存権を守り憲法を守りいかす運動で、世論を大きく動かしていこう。9条改憲を許さず、生きる権利を守れ！の声を大きく拡げ、参院選で安倍内閣を退陣させよう」と呼びかけて行動提起を行った。



事実を覆い隠し追及されると居直る最悪の安倍政権に審判を！

行動のおしまいに、農民連青年部の渡辺信嗣事務局長は「事実を覆い隠し追及されると居直る最悪の安倍政権に参院選で審判を下そう！」と訴え、国会に向けて、「首相出席の予算委員会をおこなえ！」などと参加者全員でシュプレヒコールを行った。



とりくみの日程 (6月14日～)

- 6月14日(金) 18時30分～ **市民連合街頭宣伝「市民と野党が訴える」** 新宿駅西口
主催：市民連合、総がかり行動実行委
- 6月19日(水) 13時30分～ **国民健康保険制度の改善をめざす国会内集会**
衆院第1大会議室 主催：全商連・全日本民医連
- 6月19日(水) 18時30分～ **「辺野古新基地は断念を！憲法審査会に自民党改憲案を「提示」させるな！参院選勝利！6・19国会議員会館前行動**
衆議員第2議員会館前を中心に
主催：総がかり行動実行委・全国市民アクション
- 6月24日(月) 14時～17時
「このままじゃ国民の暮らしがヤバイ！」公務のあり方を問う院内シンポジウム
参議院会館・講堂 主催：国公労連

